

兵庫県議会議員 内藤兵衛

県政NEWS

No.10 2010.4

一日生涯

「一日生涯」は、内藤兵衛議員の座右の銘です。今日の一日を生涯と心得て、全力を出し切るという思いを込めています。



「西脇市及び多可郡選挙区」に

平成23年春の統一地方選挙から

県議会の定数と選挙区のある方については、県議会議員定数等調査特別委員会で議論され、1年程度の周知期間が必要であるため、2月開会の第304回総定数は3減の89になります。

夢と希望を共有できる地域づくりに全力

た。共通する課題が多い両地域であり、絆をより強くしながら夢と希望

を共有できる地域づくりに渾身の力で前進していく決意です。

折しも2月25日には県会本会議で一般質問に登壇する機会を得ましたので、地域の課題解決策について私の提案も含めて県当局の考えや取り組みをたしました。

政治家として地域住民の声の

その先に具体的に見える「命」に真正面から向き合うという姿勢を持ちながら、自然災害、道路、シカの被害などで強く対策や整備を促した次第です。

一方、3月16日には、西脇事務所を開設することができました。皆様の声に耳を傾けることのできる拠点ですので、大いに活用して下さい。

今後とも、なお一層のご支援ご叱声をお願い申し上げ、私のごあいさつといたします。

皆様、こんにちは。皆様の温かいご支援によりまして、兵庫県議会に貴重な議席をいただけてから約3年、早いもので任期最終年を迎えました。

来年の統一地方選挙からは、「西脇市及び多可郡選挙区」として1つの選挙区となり、定数も1人になることが決まりました。

住民の声の先に見える命に向き合う

予算県会で3度目の一般質問に登壇

内藤兵衛県会議員は、2月25日、平成22年度予算案を審議する予算県会で一般質問に登壇。地域のそれぞれの問題や共通課題の解決について論陣を張りました。質疑応答を再現しました。

森づくりは減災の視点で

質問

8月の集中豪雨では、被災地の大きな砂防堰堤が、大量の土砂流出と出水をくいとめた。「県民緑税」を使った「災害に強い森づくり」の実施個所では、被害はほとんど発生しなかった▶減災の視点で森づくりを計画的に実施するとともに、路網整備等による山の管理も強化する必要がある。県民緑税は延長を検討するべきだ。

答弁

被災市町で溪流沿いの森林を緊急整備する。昨年12月策定の山地防災・土砂災害対策緊急5箇年計画を県下全域で計画的に進める。県民緑税は県民に説明し、議会とも相談しながら延長を検討する。

定住自立圏構想に積極支援を

質問

新政権により民間業者を支援する「定住自立圏等民間投資促進交付金」が550億円から100億円に削減。西脇市と多可町の民間病院が、交付金活用を検討していた▶定住自立圏構想を推進する市町にどのような支援を行うのか。

答弁

実情を国に伝えるなどで西脇圏域は交付限度額が約2千万円増となった。早期の共生ビジョン策定

を支援する。

幼保一元化は多様な形態も

質問

幼稚園、保育所の待機児童は都市部のみで、郡部では定員確保に努力しているのが実情▶市町レベルで多様な形態があってもよい。子どもの視点で体制の整備を。

答弁

認定こども園に、安心こども基金及び県単独加算による運営費助成、基金対象外の幼稚園型調理室整備等への県単独助成を進める。国に対し地方裁量の拡充を求める。

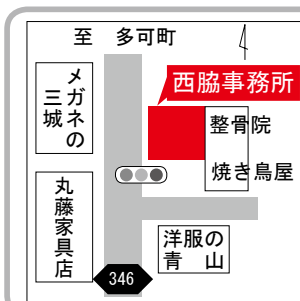
【2面に続く】

ご要望に応え

西脇事務所を開設!

〒677-0016 西脇市高田井町341-1

お気軽にお立ち寄りください! TEL 0795-23-0417 FAX 0795-23-0418



県道丹波加美線 清水坂トンネル事業の継続を

質問

・丹波市と多可町を清水坂トンネルで結ぶことで交流が加速し、北近畿豊岡自動車道へのアクセスも向上。県立柏原病院への搬送時間も大幅な短縮につながる「命の道路」、清水坂トンネルは「命をつなぐトンネル」と呼んでいる▶国予算の大幅な削減で不安視する声もあるが、地域の安全安心を確保する道路は着実に推進されるべきだ。地元の熱い願いに対する県の意気込みを伺う。

答弁

・未整備区間2^{キロ}は、昨年8月に地元の協力で用地買収が完了し、12月にトンネル工事用道路に着手した。国の公共事業予算の大幅縮減で厳しい状況だが、引き続き整備促進と必要な予算確保に全力をあげる。

都市計画道路西脇上戸田線 道路を生かす計画に見直せ

質問

・車の通行量が多いが人が少なく、まちなぎわいとしては寂しいものがある。国道区間と県道区間で計画幅員が異なるうえ、



内藤県議は井戸知事をはじめ県幹部に地域課題の解決策を提示しながら取り組みなどについて質問しました

中心市街地での道路としては広さに疑問が残る▶西脇市のまちづくりを考えた場合、観光や産業の振興、にぎわい空間の確保など道路を生かしたまちづくりの観点で見直しを行うべきだ。

答弁

歩行者・自転車の安全性・快適性ととも沿道利用の利便性の確保が図られるよう、平成22年度に都市計画の見直しに着手する。

複数の加工施設整備が必要

シカの被害対策

産官学の参画で体制構築へ

質問

・多可町では家庭料理のレシピ集を発行するなど普及に取り組んでいるが、安定供給体制が未整備であり、実需要量も不明▶捕獲頭数の増加に対応するには複数の加工施設が必要だ▶県、市町をはじめとする産官学の参画による横断的な推進体制を整備し、シカの捕獲と有効活用、すなわち川上から川下まで一貫したシステム構築をバランスよく推進しなければならない

答弁

・神戸、阪神等での試食会、飲食店や県・市町施設への利用の働きかけ、ブランド化や加工品の開発などで需要を創出する。こうした取り組みを通じ、多可町の加工施設が健全経営できることを実証し、これをモデルに複数の加工施設整備につなげていきたい。ニホンジカ有効活用研究会を核に、ガイドラインを順守する事業者を結集し、生産から加工、流通、消費までの一貫したシステムを構築し、有効利用を進めていく。

内藤ひょうえ兵庫を衛(まも)る

Photo Report



一般質問の傍聴に訪れた地域の皆さんと



奥中婦人会総会で挨拶



西脇市マナビータでの「育児塾 ぼちぼち」主催の講演会に出席



総務常任委員会の視察で、マイスター工房八千代を訪問し、地域活性化への支援を約束



西脇市郷瀬町の一本桜を守るために専門家の意見を伺う



来住西脇市長と北播磨県民局へ課題解決の要望



自民党県連研修会で「兵庫からの声」を訴える



各種友好団体との懇談会で、末松参院議員と多可町商工会青年部の方々とともに



神戸市内で開催された「北播磨物産展」のオープニングセレモニー



政調会では県当局と意見を交換

内藤ひょうえ >> プロフィール << 内藤兵衛

- ・昭和33年9月14日 多可郡中町(現多可町中区)生
- ・中町立北幼稚園、同北小学校、同中町中学校卒業
- ・私立天理高校卒業
- ・国立大阪大学法学部卒業
- ・昭和57年、(株)トーメン入社。ニューヨーク本店、大阪本店、上海店勤務。平成18年10月退職。
- ・平成19年4月、兵庫県議会議員初当選。6月から任期スタート
- ・産業労働常任委員会委員
- ・建設常任委員会委員
- ・総務常任委員会委員
- ・自民党兵庫県連組織副委員長
- 家族：母、妻、一男
- 趣味：読書、スポーツ
- 好きな言葉：一日生涯